

【英語】

～ClassPad.net のテキストふせん・同時編集機能を活用する～

「推し」を英語で紹介する授業

自分の「推し」について、熱意を持って話そう。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：英語独特の文章構成およびプレゼンテーションの方法について理解させる。自分のことばで物事を説明できるようにする。

生徒向けの目標：自分の「推し」の魅力を分析し、どうすれば他者に伝わるかを考えることができる。自分の「好き」という気持ちを原動力に、楽しみながら英語で表現しようとする姿勢を身につける。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・生徒の理解促進：英語特有の文章構造について、複数のふせんを通じて視覚的に提示し、より深く理解させることができる。
- ・生徒の集中力アップ：生徒が興味のある内容で授業を構成し、その分析や英文作成をグループワークで実施させることで、授業に集中しやすくなる。
- ・板書時間削減：板書内容にあたるものをあらかじめ各種ふせんに作成して表示することで、時間を大幅に削減することができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【授業の概要】

- ・「推し」の魅力を分析しよう。
- ・グループで様々なジャンルの「推し」を共有し、自分の好きを熱意を持って伝えよう。
- ・「推し」の魅力を活用して、楽しみながら英語で表現しよう。

概要の説明

グループに分かれて「推し」の魅力を分析し、それを英文にして発表するという授業の流れを共有し、シチュエーションを想像させる。

step2

【「推し」とは？】

人におすすめしたいほど気に入っている人物や物、またはそれを応援することを指します。

・あなたの「推し」は？「推し」を紹介しよう

スポーツ・アイドル・アニメのキャラクター・動物・鉄道・建築物など

推しの対象は幅広い

ブレインストーミング

生徒に対して好きなものを問いかけ、それぞれの様々なジャンルの「推し」を挙げてもらおう。クラスメイトの多様な「推し」を教室全体で共有することで、生徒の本課に対する意欲を向上させる。

名前が挙がった「推し」の名前や画像などを教員がその場で検索して、リンクふせんやファイルふせんにして一覧できるようにするとよい。

step3

【わたしの「推し」：野球】
①Hello everyone. Today, I want to introduce my 'oshi' to you, using a baseball game as an example.
②I want to talk about "Shohei Ohtani".Here are his three main charms.
③First, he is an amazing "Two-Way Player."
④Also, he has incredible power and speed.
⑤Third, he has a great personality and is very humble.
⑥Because of these points, I think Shohei Ohtani is the best!

教員によるモデルロール

教員自身の「推し」について、簡単な英語でモデルプレゼンを行う。このとき、接続詞はジェスチャーなどを交えながら発音し強調したい。
また、使用した接続詞についての説明は次の step で解説することを予告する。

教員は事前に作成したモデルロール用のデジタルノートを活用し、プロジェクターや電子黒板を用いて投影しながらデモンストレーションを行う。

step4

【重要な役割の接続詞と「型」】
プレゼンテーションで、重要なのが「接続詞」。
また、「型」を使って文章を組み立てれば、簡単に英文で説明できる

- ・「型」：はじめ（タイトルと挨拶）
①Hello everyone. Today, I want to introduce... など
②I want to talk about... など
- ・「型」：なか（接続詞）
（推しの紹介：3つの魅力）
③First, ④Also, ⑤Third, など
- ・「型」：おわり（総論）
⑥Because of these points, など

接続詞の解説

教員が実践して見せたプレゼンについて、接続詞が内容理解において重要な役割を果たしていることを説明する。また、多く用いられる接続詞や教員が考える重要語句などの紹介も行う。接続詞を特に強調し、「型」を使えば誰でも簡単に英文による説明ができることを示す。

テキストふせんに記載した具体的な文章を提示しながら説明することで、接続詞が文章全体において重要な役割を果たしていることを強調する。

step5

【〇グループの「推し」：〇〇〇〇〇】
〇〇〇〇〇の3つの魅力を書き出そう！

- 1.
- 2.
- 3.

グループ活動①（紹介準備）

クラスを3～4人ずつのグループに分ける。次に、グループごとに発表する「推し」を決め、その魅力を3つのポイントに整理させる。生徒が自ら考え、相談することに重点を置きたいため、教員は机間巡視を行い、個別に簡単なアドバイスを与え、生徒の表現をサポートする。

生徒には EX-word ふせんを用いるようアドバイスし、さまざまな単語を使用しながら、文章を複数枚のテキストふせんで構成させるようにする。その際、同時編集機能を用いるように指導する。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step6

【〇グループの「推し」：〇〇〇〇〇】
「型」：はじめ（タイトルと挨拶）を考えよう。

①Hello everyone. Today, I want to introduce...など
②I want to talk about ...など

①
②

グループ活動②（文章作成）

具体的な文章の作成に取りかからせる。教員は各グループの進行状況を確認しながら、個別に簡単なアドバイスを与え、生徒たちの表現をサポートする。また、紹介文の作成が完了したら、グループ内で発表練習を行うように指導する。

step5 と同様。

step7



発表

各グループで分担しながら作成した文章を発表する。この際、振り返り・反省を行うためのワークシートを作成し、生徒に配布することで、フィードバックを実施できるようにする。また、他の生徒には発表を聞いて、「どのグループの推し」が最も気になったかを考えさせる。

事前に Word 等でワークシートを作成しておき、ファイルふせんにしたものを授業支援機能で生徒に配布する。生徒には手描き機能でワークシートに記入してもらい、発表したグループの生徒に授業支援機能で送信させる。発表するグループの生徒には、端末をプロジェクターや電子黒板に繋いで、step5～6 で作成したふせんを投影しながら発表させる。

step8

【まとめ】
【重要な役割の接続詞と「型」】
プレゼンテーションで、重要なのが**接続詞**。
また、「型」を使って文章を組み立てれば、簡単に英文で説明できる

・「型」：はじめ（タイトルと挨拶）
①Hello everyone. Today, I want to introduce. など
②I want to talk about. など

・「型」：なか（接続詞）
（推しの紹介：3つの能力）
③First, ④Also, ⑤Third. など

・「型」：おわり（結論）
⑥Because of these points, など

全体講評

教員から授業全体の講評を行う。その際、接続詞を使うことの重要性を強調し、今回の学習の汎用性を示す。また、時間があれば個々のグループに対する補足や解説も加えるとよい。
最後に、冒頭で提示した目標が達成できたかを確認する。

本授業のポイントをまとめたテキストふせんをプロジェクターや電子黒板を用いて投影し、改めて重要事項を確認する。

step9

【発表した内容をもっと魅力的にしてみよう！】
【〇グループの「推し」：〇〇〇〇〇〇】

【手順】
写真や**イラスト**を取り入れ、配置を工夫しながら、見る側を魅了させよう！

参考・補足

発表した内容をもとに、写真やイラストなどの配置を考えながら、見る側を魅了するプレゼン資料を作成するように促す。文章だけではなく、効果的な資料作成能力についても養うことができる。

step5～6で作ってもらった発表材料をもとに、さらに豊富なファイルふせんやリンクふせん等を駆使した、魅力的なプレゼン資料として仕上げさせる。